

長野県内で保護された オオシロハラミズナギドリ *Pterodroma externa cervicalis* と シロハラミズナギドリ *P. hypoleuca*

堀田昌伸¹・飯島 久²・杉山 要³・平岡 考⁴

オオシロハラミズナギドリ *Pterodroma externa* の 1 亜種であるクビワオオシロハラミズナギドリ *P. e. cervicalis* が 2007 年 9 月 19 日に長野県松本市安曇 (36° 09'03"N, 137° 40'57"E) で保護された。これは本種の長野県で初めての記録である。また、シロハラミズナギドリ *P. hypoleuca* が 2007 年 9 月 7 日に長野県南佐久郡川上村 (35° 58'06"N, 138° 32'47"E) で保護された。

キーワード：クビワオオシロハラミズナギドリ, *Pterodroma externa cervicalis*, シロハラミズナギドリ, *P. hypoleuca*, 長野県

ミズナギドリ類などの外洋性鳥類が、海に面していない長野県で確認されることは稀であり、これまでミズナギドリ科では、フルマカモメ *Fulmarus glacialis*, シロハラミズナギドリ *Pterodroma hypoleuca*, アナドリ *Bulweria bulwerii*, オオミズナギドリ *Calonectris leucomelas*, オナガミズナギドリ *Puffinus pacificus*, ハシボソミズナギドリ *P. tenuirostris*, コミズナギドリ *P. nativitatis* の 7 種について数例の確認があるだけである^{1)~3)}。今回保護された 2 種のうち、オオシロハラミズナギドリ *P. externa* は県内で確認された報告はなく初めての記録となる。また、シロハラミズナギドリは県内 6 例目の記録となるのでここに報告する。

オオシロハラミズナギドリはニュージーランド北部の島で繁殖する亜種クビワオオシロハラミズナギドリ *P. e. cervicalis* とチリ沖の島で繁殖する亜種オオシロハラミズナギドリ *P. e. externa* が知られ⁴⁾、しばしば別種とされる^{5), 6)}。前者は非繁殖期に北太平洋に渡り、8~11月にマリアナ諸島東方海域に広く分布するが⁷⁾、後者は非繁殖期に主に太平洋東部の熱帯・亜熱帯の海域に分散する。いずれの亜種も日本近海で確認されることは非常に稀である⁴⁾。また、シロハラミズナギドリは小笠原諸島の鴛島や硫黄列島、太平洋北西部のハワイ諸島で繁殖し^{5), 6)}、1年を通じて繁殖地周辺で生息するもののほかに、

5~6月に繁殖地の北東から東方及び三陸沖合に分散するものもあるが⁸⁾、本州近海で確認されることは稀である⁴⁾。

今回保護されたオオシロハラミズナギドリは、2007年9月19日、長野県松本市安曇の前川渡大橋付近の道端 (36° 09'03"N, 137° 40'57"E) で菅根正夫氏により保護され、柳田史城氏により松本市アルプス公園にもちこまれた。当園で治療・計測し、翌日の2007年9月20日にアルプス公園周辺で放鳥された。この鳥は、全長40cm、翼開長100cm、体重345gであった。一方、シロハラミズナギドリは、2007年9月7日午前8時頃、長野県南佐久郡川上村上村原にある駐車場 (35° 58'06"N, 138° 32'47"E) で由井佳伸氏により保護された。杉山要氏により治療・飼養後、2007年9月11日に静岡県静岡市清水三保で放鳥された。この鳥は全長のみが計測され31cmであった。

両種とも鼻孔は管状であり、その管状の鼻孔が先端が鉤曲した嘴の上部に開いていることからミズナギドリ目 (Procellariiformes) ミズナギドリ科 (Procellariidae) の鳥であると判断された。

ミズナギドリ科は14属70種からなるが、保護された2個体の全長はそれぞれ40cmと31cmであり、ミズナギドリ科 (全長: 26~87cm) のの中では中型と小型であること、両種とも嘴は頭長よりも

1 長野県環境保全研究所 自然環境部 〒381-0075 長野県長野市北郷 2054-120
 2 アルプス公園・小鳥と小動物の森 〒390-0861 長野県松本市蟻ヶ崎大平 2255-7
 3 〒384-1407 長野県南佐久郡川上村御所平 333
 4 劔山階鳥類研究所 〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 115

短くかぎ状であることからシロハラミズナギドリ属 (*Pterodroma*) であると判断された。シロハラミズナギドリ属は 31 種⁵⁾ もしくは 34 種⁶⁾ に分類されるが、松本市安曇で保護された個体は全長が 40cm であり、額は白く頭部は暗褐色、背は淡灰褐色、初



写真 1a 松本市安曇で保護されたクビワオオシロハラミズナギドリ (山口達夫氏撮影)



写真 1b クビワオオシロハラミズナギドリの下面 (吉川登氏撮影)



写真 2a 川上村で保護されたシロハラミズナギドリ



写真 2b シロハラミズナギドリの下面

列風切から大雨覆は暗褐色、下面は白色で、翼の外縁は黒色、翼角からかすかな黒線が斜めに入っていること、後頸が白色であることから、オオシロハラミズナギドリの亜種であるクビワオオシロハラミズナギドリと同定した (写真 1a, 1b)。

一方、川上村で保護された個体は全長が 31cm であり、額は白く頭部と後頸は暗褐色、背は灰褐色、下面は白色で、翼の外縁は黒色、翼角から明瞭な黒線が斜めにはいつていることから、この鳥をシロハラミズナギドリと同定した (写真 2a, 2b)。

今回、2 種のミズナギドリ類が長野県で確認されたが、このような外洋性鳥類が日本の沿岸部や内陸部で確認・保護される原因として、台風の進路や上陸地点との関連が指摘されている⁵⁾。今回の事例についても、シロハラミズナギドリが保護された前日の 9 月 6 日深夜に伊豆半島に上陸した台風 9 号が 9 月 7 日に長野県の東側を北上したこと、クビワオオシロハラミズナギドリが保護された 2 日前の 9 月 17 日から 18 日にかけて台風 11 号が日本海を東北東に移動したことから、両種とも台風により迷行してきた可能性が高いと考えられる。

文 献

- 1) 日本野鳥の会長野支部(編) (1979) 長野県鳥類目録—1972 ~ 1978 年の記録一。日本野鳥の会長野支部, 長野。
- 2) 日本野鳥の会長野支部(編) (1991) 長野県鳥類目録 2—100 年の記録一。日本野鳥の会長野支部, 長野。
- 3) 日本野鳥の会長野支部(編) (1999) 長野県鳥類目録 3—繁殖鳥類分布図一。日本野鳥の会長野支部, 長野。
- 4) 日本鳥類目録編集委員会(編) (2000) 日本鳥類目録改訂第 6 版。日本鳥学会, 帯広。
- 5) del Hoyo, J, Elliott, A & Sargatal, J (eds) (1992) Handbook of the Birds of the World. Vol.1: Ostrich to Ducks. Lynx Edicions, Barcelona.
- 6) Onley, D & Scofield, P (2007) Albatrosses, Petrels and Shearwaters of the World. Christopher Helm, London.
- 7) 田中祐・稲葉不二夫 (1981) 北太平洋西部及び日本近海におけるオオシロハラミズナギドリの季節的分布並びに移動について。山階鳥類研究所研究報告 13: 207-214。

- 8) 田中祐・兼子康雄 (1983) 北西太平洋におけるシロハラミズナギドリの移動と分布域の水温について. 鳥 32: 119-127.
- 9) 中村一恵 (2002) 海鳥はなぜ落ちるのか. BIRDER 16: 27-29.

A White-necked Petrel (*Pterodroma externa cervicalis*)
and an Ogasawara Island Petrel (*P. hypoleuca*) Recorded
in Nagano Prefecture, Central Japan

Masanobu HOTTA¹, Hisashi IJIMA², Kaname SUGIYAMA³ and Takashi HIRAOKA⁴

1 Nagano Environmental Conservation Research Institute, Natural Environment Division,
2054-120 Kitago Nagano, 381-0075 Japan

2 Alps Park, Ohira2255-7, Arigasaki Matsumoto, 390-0861 Japan

3 Goshodaira 333, Kawakami, 384-1407 Japan

4 The Yamashina Institute for Ornithology, Konoyama, Abiko, Chiba, 270-1145 Japan

Abstract

A White-necked Petrel (*Pterodroma externa cervicalis*) was caught enfeebled on Azumi (36 ° 09'03"N, 137 ° 40' 57"E) in Matsumoto City, Nagano Prefecture, central Japan on 19th September, 2007. This is the first record of a White-necked Petrel in Nagano Prefecture. An Ogasawara Island Petrel (*P. hypoleuca*) was also caught enfeebled on Kawakami Village (35 ° 58'06"N, 138 ° 32'47"E), Nagano Prefecture, on 7th September, 2007.

Key words : White-necked Petrel, *Pterodroma externa cervicalis*, Ogasawara Island Petrel, *P. hypoleuca*